

編集委員会



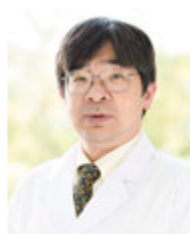
森脇 真一先生



梶本 宣永先生



上杉 康夫先生



萩森 伸一先生



新田 雅彦先生



津田 泰宏先生



田中 慶太郎先生



中野 隆史先生



瀧谷 公隆先生



池田 宗一郎先生



平松 亮先生

編集後記

7月1日に病院新本館(A棟)が開院しました。着工から丸3年、新型コロナの影響で一時中断もありましたが、古い病棟で長く働いてきた私にとって、地上12階、地下1階の堂々とした建物の完成は感慨深いものがあります。内部には化学療法センター内の抗がん剤調製ロボットを始めとする最新鋭の機器が導入され早速稼働しています。3年後、B棟の完成とともに多くの診療科がそちらに移動します。より機能的になるB棟完成が待ち遠しく感じられます。また三島救命救急センターの閉院に伴い、救命救急センターが当大学病院に移転しました。酷暑による熱中症患者の増加に加え新型コロナの第7波が重なり、救急医療に関わる先生、スタッフの皆さんは大変忙しいと伺っています。一刻も早い新型コロナの収拾を願わずにはられません。

本号では特集として昨年11月に病院内に開設された「アレルギーセンター」を取り上げ、座談会を企画しました。今まで耳鼻科、皮膚科、小児科、呼吸器内科など各科別々で診てきたアレルギー疾患を横断的に、また看護師や検査技師とも相互に理解を深めながらチームで診療に当たろうとする熱意がひしひしと伝わってきます。診療科や職種の垣根を超えた取り組みが、これからの大阪医科薬科大学病院の新たな推進力となることを期待したいと思います。そのほかの記事いずれも読みごたえたっぷりです。秋の夜長、お時間のあるときにお読みいただければ幸いです。

編集委員 萩森 伸一